

1 策定の趣旨

(1) 策定の背景・意義

県では、令和2(2020)年度を目標年次とする“とちぎ産業成長戦略”を平成28(2016)年3月に策定し、ものづくり産業やヘルスケア等の新たな成長産業の振興、中小・小規模事業者の支援などの様々な産業振興施策に取り組んできた。

このような中、人口減少や少子高齢化の更なる進行、Society5.0実現への潮流に加え、新型コロナウイルス感染症による影響など、本県産業を取り巻く社会経済情勢は大きく変化している。本県産業が将来にわたり成長するためには、経営基盤の安定・強化や雇用の維持・創出等により危機的状況を早期に克服した上で、新たな成長の取り込みによる、本県産業の活性化が重要である。このため、本県の強みを生かした更なる産業振興施策を推進する次期産業プランを策定する。

(2) プランの位置づけ

- ・本県産業の目指すべき将来像やその実現に向けた産業振興施策の方向及び具体的な取組を示す本県の産業振興施策の基本指針
- ・中小企業・小規模企業振興条例に基づく指針

(3) 計画期間

令和3(2021)年度～令和7(2025)年度

2 本県産業を取り巻く社会経済情勢の変化

- ①人口減少・少子高齢化の更なる進行
- ②グローバル化の進展
- ③技術革新によるSociety5.0実現への潮流
- ④環境・エネルギーに関する社会変革や自然災害・感染症等への対応

3 本県産業の特徴と課題

(1) 本県の立地環境・地域資源

- 【特徴】
- ・産業活動の基盤となる土地や水資源
 - ・日光などの観光地、優れた歴史と文化
 - ・道路や鉄道網の整備による地理的優位性
 - ・農産物や伝統工芸品など多様な地域資源

(2) 本県産業の特徴と課題

①本県の産業構造

- 【特徴】 全国上位の県内総生産、県民所得
- 【課題】 ・未来技術の社会実装の促進やベンチャー創出等による次世代産業の創出・育成

②製造業

- 【特徴】 製造品出荷額等の増加、デジタル技術の導入が少ない中小企業、下請的立場にある多くの中小企業
- 【課題】 ・戦略産業分野の競争力強化とものづくり未来技術の活用
- ・企業の海外展開や県産品の販路拡大

③商業・サービス業

- 【特徴】 事業所の減少、従業者の増加、ICT導入の遅れ
- 【課題】 ・小規模事業者の経営安定・発展に向けた行政や商工団体等による支援の充実
- ・キャッシュレス決済などから得られる販売データ等の分析による新商品等の開発

【製造業と商業・サービス業に共通する課題】

- ・円滑な事業承継の促進、BCP未策定企業等への普及啓発及び策定支援

④観光

- 【特徴】 近年の観光客入込数等の増加傾向
- 【課題】 ・観光誘客と宿泊数の増加に向けた観光素材の掘り起こし、磨き上げとターゲットに応じた効果的な情報発信
- ・多言語対応の充実などの受入環境の整備

⑤企業立地

- 【特徴】 本県における企業立地の堅調な推移
- 【課題】 ・本社や研究所等の立地促進に向けた誘致活動の強化
- ・企業の立地需要に対応するための、市町との役割分担と相互協力による産業団地整備

⑥雇用・産業人材

- 【特徴】 就業形態の多様化、女性・高齢者・障害者(雇用率)・外国人の労働者の増加
- 【課題】 ・女性、高齢者、外国人等の就労やU I Jターンの促進
- ・未来技術に対応できる人材の育成
 - ・長時間労働の是正や柔軟で多様な働き方の実現

新型コロナウイルスの影響への適切な対応
(サプライチェーンの毀損や観光客の減少など)

4 本県産業が目指すべき姿(将来像)

(1) 本県産業の10年後のイメージ

- ① Society5.0時代の潮流の中で、あらゆる産業において未来技術の活用が進むとともに、次の時代の成長を担う次世代産業の創出などにより、本県産業が持続的に発展している
- ② ものづくり産業やサービス産業など多様な産業の成長や、中小企業・小規模事業者の活性化などにより本県産業がバランス良く発展し、創出された付加価値が更なる付加価値を生み出す好循環が進展している
- ③ 東京圏との近接性や充実した高速交通ネットワーク、大規模な自然災害リスクの少なさなど本県の優れた立地環境の魅力が国内外に浸透し、企業の拠点拡大やリスク分散の動きの中で、“とちぎ”が選ばれ続けている
- ④ 成長する海外市場に挑戦する企業が増加するとともに、インバウンド需要の取り込みが進展し、「海外から稼ぐ」流れが加速している
- ⑤ 優れた観光資源の掘り起こし・磨き上げにより、本県の実力が向上し、国内外から多くの観光客が訪れ、賑わいで溢れている
- ⑥ 時代の変化に対応できる人材の育成や、個人の希望と企業の人材ニーズに即した雇用の実現により、多様な人材が本県産業の成長を支えている

(2) 本県産業が目指すべき姿(将来像)

※Society5.0時代を切り拓き、成長する本県産業の未来の実現をイメージさせる将来像とする。

(3) 基本姿勢

- すべての県民や企業が魅力・実力のある“とちぎの産業”を支える担い手として協働する
- 地域社会が連携・協力し、多様な経済活動を相互に支える
- 変化に対応し、成長に向かってチャレンジし続ける

5 将来像実現に向けた産業振興施策の方向と具体的な取組

重点的な振興分野	①次世代産業の創出・育成	②ものづくり産業の戦略的な振興	③企業立地・定着促進
	④サービス産業の育成・発展	⑤海外展開の支援	⑥魅力ある観光地づくり
産業成長の基盤	①人材の確保・育成		②中小企業・小規模事業者支援

具体的取組

重点プロジェクト	①次世代産業創造プロジェクト 1) Society5.0実現加速化に向けた未来技術の社会実装の推進 2) 次世代産業の創出・育成 3) 未来技術に対応できる人材の育成	②ものづくり産業躍進プロジェクト 1) 戦略3産業（自動車・航空宇宙・医療福祉機器）の重点支援によるものづくり企業の躍進 2) 未来3技術（AI・IoT、光学、環境・新素材）の活用を通じた競争力強化 3) “フードバレーとちぎ”の推進	③企業誘致プロジェクト 1) 新たな企業（本社、研究所、工場等）の立地促進 2) 既立地企業の定着促進 3) 立地環境の向上
	④サービス産業発展プロジェクト 1) 技術革新等変化する環境への適応支援 2) 企業の成長を支えるサービス産業の育成	⑤グローバル展開プロジェクト 1) 海外展開の支援 2) 海外展開を担う人材の確保・育成 3) 外資系企業の誘致・定着促進	⑥観光立県とちぎプロジェクト 1) 戦略的な観光誘客の推進 2) 受入態勢の整備・充実強化及び地域主体の観光地づくりの推進

基盤施策	①産業人材の確保・育成 1) 体系的な人材の育成 2) 人材の確保と就労支援 3) 働きやすい環境づくり	②中小企業・小規模事業者の活性化 1) 中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定・強化と持続的発展に向けた支援 2) 地域資源を活用した産業の振興 3) 環境等に対応した企業の成長とSDGsの実現に向けた取組
------	--	---

※ 新型コロナウイルス感染症等リスクへの対応などについて具体的取組に記載

6 次期産業プランにおけるSDGsの位置づけ

※次期産業プランの取組について、SDGsの位置づけを整理